

箱根組ニュース

第379号 2024年 12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

ヤビツ峠から丹沢・三ノ塔へ挑戦する5人、紅葉と緑のコントラストが美しかった！

1月17日(日)、小田急線新宿駅発、6時11分の急行新松田行きに乗車。新宿からは、佐藤、有倉、戸丸の3名。新百合ヶ丘駅で乗車のはずの奥村が乗ってこない。どうやら乗り遅れたらしいとラインで連絡が入る。

秦野7時19分着。駅構内で10分ほど待ち奥村と無事に合流。先に着いていた西川はひとつ前のバスでヤビツ峠に向かった。

7時44分発のバスが満員で後続の臨時バスに乗車。まもなく臨時バスが来て、ゆつくり最後尾に座れた。少し時間がかかるので座れてラッキーだった。

8時40分頃、ヤビツ峠に到着。という訳で、佐藤、有倉、奥村、西川、戸丸の5名が無事に揃った。各自ストレッチをする。

9時出発。今日の先頭は奥村リーダー。ヤビツ峠は標高766m。三ノ塔は1205mなので、標高差は436mだが、最初は少し下りなので500mほど登ることになるだろうか。

「丹沢表尾根方面1、5キロ先左折」の看板がある。周囲の紅葉がきれいな車道を緩やかに下ってゆく。のんびりと道わきの黄色い紅葉を眺めながら下ってゆく。こんなのにのんびりでいいのだろうかという感じた。

9時34分、左側にチップトイレ(100円を入れて利用する)のある分岐に到着。小休止。塔ノ岳までは6、2キロとある。再出発。今度は舗装路をゆつくりとじわじわ上り坂だ。

9時42分、登山道入口。三ノ塔までは2キロとある。ちなみに塔ノ岳までは3倍の6、1キロだ。三ノ塔まで地図上では1時間半ほどだ。まずは針葉樹の植林地を登って行く。山道はすぐに自然林になり、赤や黄色の紅葉が目立ってくる。

9時56分、左から菩提峠からの道と合流する。だんだん急になってくる。周囲の山々は秋の深まりを見せていてきれいに色づいている。

10時10分頃、いったん平坦な尾根になるがすぐにまた坂道になる。頭上の



青空に透ける紅葉が黄色と緑のグラデーションで美しい。

丸木の階段状の道がなかなかの手ごたえだ。紅葉のトンネルの様な景色に心を奪われる。足元はいつの間にか岩が多くなり少し歩みにくい。木々は少し背丈が低くなるが紅葉は赤も黄色も混ざって錦色になる。

10時52分頃。左方向を見ると湘南方面の海がよく見える。江の島も確認できた。道端には可愛いリンドウが鮮やかな青いグラデーションを見せている。スキの穂と葉を落とした木々の景色は静かな初冬を思わせる。じわじわときつい上りが続く。

11時15分、足元に木製の長い上りの階段が連なっている。まだ比較的新しくよく整備されている。

11時35分、1141mの二ノ塔に

到着。

ここまでの上りはなかなかの手ごたえだった。小休止して再出発。

まずは木道を下ってゆく。そして足元の不安定なやせ尾根を降

収支	
繰越	21415 円
支出	
ニュース/HP 作成	500 円
当日プリント代	50 円
現在高	20865 円

りてゆくと、左側に絶景が広がる。秦野、小田原などの街の向こうに相模湾が見え、小田原付近の海岸線が湾曲しているのがよく見える。その先は真鶴岬、熱海、伊豆半島だ。振り返れば大山の雄姿が間近に見える。それから一登りすると山頂エリアに到着。

11時54分、三ノ塔(1205m)に到着。残念ながら雲が多く富士山は見えない。東方面は青空が広がっていて大山も良く見える。風があるので休憩所の建物の前で昼食。いつも通りゆっくりする。少しのビールで乾杯し、最後はコーヒーにブラツクニツカを少し入れて楽しむ。

標識前で記念撮影。残念ながらやはり富士山は雲の中。1時32分、下山開始。大山は青空の下にそびえているが。西方面は雲に隠れている。

二分ほどで右に分岐の標識。戸川6,9キロ。牛首經由で大倉バス停に降りる約

12月15日(日) 飯能河原で焚火・芋煮会

ラクダコース 歩行時間(往復約1時間)

飯能駅南口から飯能大橋まで歩き、そこから入間川沿いを歩いて飯能河原へ。河原で芋煮と焚火を楽しみます。

※お弁当は要りません。芋煮とうどんを作ります。

○持ち物 芋煮材料(参加者で分担)、ポットにお湯、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 12月13日(金)

申し込み時に芋煮の分担をお知らせください。

※参加人数で分量調整が必要、前日土曜日に掲示板で参加人数を確認してください。

芋煮材料(里芋、こんにゃく、うどん、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麺つゆ、カレールー)

集合 12月15日(日)

西武池袋駅 9:03 発
急行飯能行き (前から3両目車内)

途中駅発

石神井公園 9:14 ひばりヶ丘 9:19
西所沢 9:30

飯能 9:51 着

交通費 池袋～飯能 片道481円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

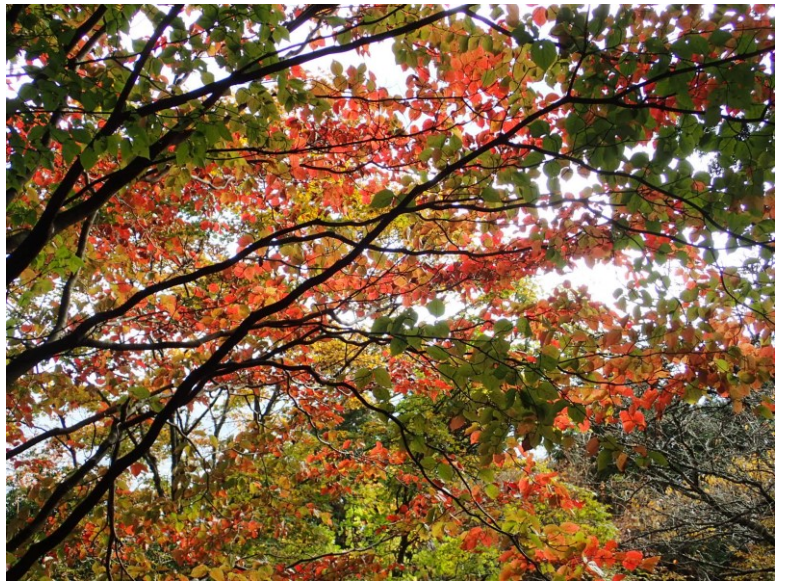
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>



5・7キロのコースだ。その三ノ塔尾根を下ってゆく。最初は緩やかな下りだがその後は急な道の九十九折れになる。

2時20分、木製の階段を降りると木の根の多い道になる。しかし赤い紅葉に癒される。

2時38分、標識あり。三ノ塔から1.2キロ地点。大倉まで残り4,5キロだ。途中で先頭を有倉に交代。

2時50分、一旦平坦な道になる。

3時5分、西方向に少し展望が開ける

ところで目をやるとなんと富士山が見える。逆光でかすんではいるが山頂まではつきり見えた。ご褒美で富士山が見えた。

3時45分頃、牛首に到着。小休止。ここで山道と林道を選べるが、ここからは舗装の林道歩きにした。以前は何度も歩いた右側の40分ほどの山道があるが、疲労を考えて10分ほど短い林道を選ぶ。その林道をのんびりと下ってゆく。林道横の斜面には鹿やイノシシらしい足跡が獣道を作っている。

4時20分、秦野戸川公園の一角の風の吊り橋手前に到着。大きな立派な吊り橋を渡ってゆく。吊り橋だが揺れは感じない。眼下の河川敷には立派な広々とした公園で、いろいろな施設があるようだ。4時半、大倉バス停。トイレと秦野ビクターセンターがある。

バス停にはすでに大勢の人が並んでいるので次のバスに乗るべくとりあえず並んでおく。案の定大行列は全員乗れず、10数人は次のバスに乗るためにそのまま並んでいる。超満員でそのバスは出発。

17分後のバスは4時55分発。無事に全員座れた。それでもそのあと次々に乗客が乗ってきてやはり超満員になった。丹沢の人氣が身をもつてわかった。

5時7分頃、渋沢駅北口に到着。³ 駅前に着くと早速打ち上げ会場を探す。北口でいくつかあったが今一つ気がすすまないのので、ネットで探した南口に行ってみる、うろ覚えの情報で。

南口左側にお店があつたので入ることにした。入り口は派手な感じではなくちよつと躊躇しながら入っていった。チェーン店ではない地元のお店らしかった。これが当たりでお酒も料理も良心的でおいしくて安くて最高だった。大満足で帰路に着く。



